

# 山陽小野田市議会

## 平成28年9月議会 議会報告会

### プログラム

- \* 開会挨拶
- \* 9月議会の報告
  - 総務文教常任委員会
  - 民生福祉常任委員会
  - 産業建設常任委員会
  - 一般会計予算決算常任委員会
  - 議会のあり方調査特別委員会

- \* 質疑応答

### 学校給食センター整備議案の撤回

9月2日に上程され、5日の総務委員会で可決した  
厨房機器の物品購入と建設工事請負契約の8議案



国の交付金の対象事業となる見込みがあるため、  
9月28日の定例会最終日に **議案撤回**

#### ・今後の流れ

国の補正予算成立後、臨時議会(11月)を開き  
再提出

### 総務文教常任委員会

議案第70号 平成27年度山陽小野田市  
小型自動車競走事業特別会計歳入歳出  
決算認定について

## 山陽オート特別会計決算



### 概要

- ・歳入69億2,916万4,720円、歳出78億6,136万6,086円
- ・包括的民間委託料5億2,465万6,286円

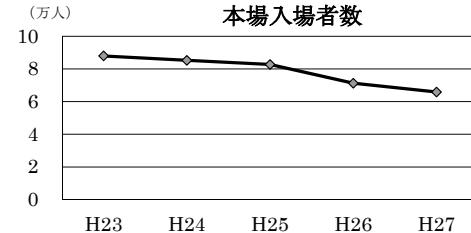
### 明らかになったこと

- ・雪で開催日が1日減少したため、売上も減少
- ・累積債務の総額が19億7,833万4,920円に減少
- ・今後の返済計画をできるだけ早く出したい

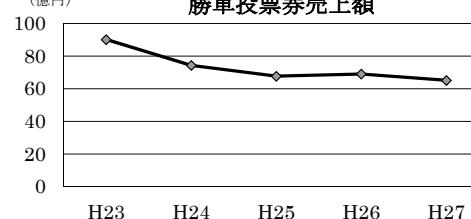
### 結果

- ・賛成多数で認定

### 本場入場者数



### 勝車投票券売上額



## 質疑応答

- \* 発言の前に自治会名とお名前をお願いします。
- \* 質問は一問一答で行います。
- \* 質問内容は簡潔にお願いします。

## 民生福祉常任委員会

議案第64号平成27年度山陽小野田市  
国民健康保険特別会計歳入歳出決算認  
定について  
議案5件

27年4月グランドオープン

## 平成27年度病院事業会計決算

### 病院事業収益

41億9,240万103円

特別繰入  
2億9,700  
万円

### 病院事業費用

41億350万9,455円

差し引き8,889万648円の黒字

### 患者数(1日平均)

入院:178人(前年度161人)

外来:430人(前年度434人)

## 子育て総合支援センター

### 旧小野田労働基準監督署の取得



小野田駅  
北側



土地1,500m<sup>2</sup> 建物950m<sup>2</sup>  
価格6,597万3,000円

### ● 主な論点

\* 外来収益が増えている理由は

→ 抗がん剤治療が外来で行えるようになった

\* 当初予算との比較はどうか

(1日平均)

	決 算	当 初 予 算	増 減
入院患者数	178人	183人	5人減
外来患者数	430人	500人	70人減

\* 待ち時間対策はどうか

→ 携帯呼び出しを試行した。近日導入する

### ● 結果 全員賛成で認定



結果  
全員賛成  
で可決

### ● 主な論点

\* エレベーターは設置するのか

→ 実施設計までには決める

\* 取得する建物ではプレイルーム  
が狭くなるのではないか

→ 相談支援のワンストップ化を図るための  
支援センターとしたい

\* 駐車場が足りないのではないか

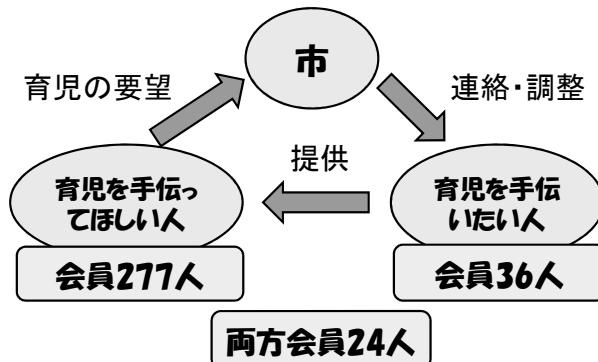
→ 隣接する市有地を利用

\* 改修費用の内訳は何か

→ 幼児用トイレ設置、キッズキッチン等

## 子育て支援について：所管事務調査

### ファミリーサポートセンター



### 質疑応答

\* 発言の前に自治会名とお名前をお願いします。

\* 質問は一問一答で行います。

\* 質問内容は簡潔にお願いします。

## 産業建設常任委員会

山陽小野田市

汚水処理施設整備構想について

『現状と課題』

『汚水処理施設構想内容』

### 1. 現状と課題

#### (1) 現状

汚水処理普及率は、公共下水道52.0%、農業集落排水施設2.8%、個人設置型浄化槽24.4%で、未整備は20.8%である



#### (2) 課題

- ・排水処理施設への早期接続
- ・汚水処理施設から発生する汚泥の有効利用
- ・合併浄化槽への転換促進
- ・排水処理施設の老朽化により、長寿命化や更新が必要である

## 2.汚水処理施設構想内容

- (1)山陽小野田市の将来人口は減少が続き、平成52年度には約2割減となる
- (2)国土交通省、農林水産省、環境省の3省庁合同のガイドラインによる経済比較を基に、将来的に汚水処理方法(公共下水道、農業集落排水、合併浄化槽など)を検討した
- (3)主な見直し地区は、小野田西地区(主に郷地区)を農業集落排水から公共下水道事業へ、不動寺原地区を合併浄化槽へ

## 質疑応答

- \* 発言の前に自治会名とお名前をお願いします。
- \* 質問は一問一答で行います。
- \* 質問内容は簡潔にお願いします。

## 一般会計予算決算常任委員会

議案第62号 平成27年度山陽小野田市一般会計歳入歳出決算認定について

議案第74号 平成28年度山陽小野田市一般会計補正予算(第4回)について

議案第75号 平成28年度山陽小野田市一般会計補正予算(第5回)について

## 平成27年度決算

### ・総括的な内容

・歳入:地方消費税交付金、使用料及び手数料の増  
国庫支出金や繰入金、市債の減  
34億1,457万円減の264億5,614万円

・歳出:プレミアム付商品券発行補助事業、給食共同調理場建設事業等の増、新病院建設の出資、新ごみ処理施設整備事業の終了  
36億2,293万円減の256億6,493万円

・歳入歳出差引額 7億9,121万円  
次年度繰越 7億7,731万円

### ●委員の自由討議の内容

- ・何のための事業評価か理解できていない。  
事業終了後の総括が不十分で、次につなげるための目標設定がされていない
- ・財政健全化に向けての努力は評価したい
- ・執行部間で横のつながりがない
- ・担当者の経験が浅く、柔軟な対応ができないため、硬直した解釈や事業運営になっている

### ○結果 賛成多数で認定

### 附帯決議

「事業の目的が不明確」、「手段と目的を混同」、「効果の検証が不十分」など、事務事業評価制度が有効に活用されていない事例が多く見られた。

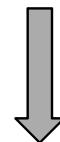
については、事務事業評価制度の統一的な運用を徹底するとともに、事業が市民のためになっているかを検証し、「活力ある住みよさ創造都市」の実現に結び付くよう一丸となって取り組むこと。

### 平成28年度第4回補正

- ・山口東京理科大学の薬学部の設置に当たり、宇都市所有の学校用地に薬学部校舎などを建設するための用地購入費として4億3,950万4,000円



- ・4月下旬、薬学部校舎の建設場所がほぼ固まる



宇都市所有の学校用地全てを  
購入する方向で協議

- ・売買価格は不動産鑑定評価に基づく鑑定評価併せて面積も測量

1m <sup>2</sup> 当たり単価	面積	評価額
1万3,300円	1万871.4m <sup>2</sup>	1億4,458万9,620円
1万4,400円	1万9,131.45m <sup>2</sup>	2億7,549万2,880円
8,600円	2,258.27m <sup>2</sup>	1,942万1,122円
合 計		4億3,950万3,622円

- 主な質疑

宇部市との協議により価格を下げてもらえたかったのか

→ 交渉したが、地方公共団体の土地売買は現状評価が大原則で、原則に従って売却したいとの回答だった

- ・隣接地も宇部市の土地が細長く入っており、学園都市構想という大きな場面から見ても併せて整理し、市境をはっきりすべきだ

→ その方向で努力する

- ・財源は合併特例債を使うのか

→ 地方債は3億2,960万円増額しているが、通常債として充当率75%の学校教育施設等整備事業債を充てており、合併特例債は使わない

- 反対討論

市民に迷惑をかけないと言いながら、120億円という巨額の予算に膨れ上がっている

市民に対する説明責任が果たされていない

- 賛成討論

場所の不満はあるが、山陽小野田市の活性化には、薬学部の設置は重要な案件である

○ 結果 賛成多数で可決

附帯決議

大学のあるまちにふさわしい地域とするため、宇部市との市境の変更が必要であり、そのための執行部の努力を求める

## 質疑応答

\* 発言の前に自治会名とお名前をお願いします。

\* 質問は一問一答で行います。

\* 質問内容は簡潔にお願いします。

## 議会のあり方調査特別委員会

### 議員定数について

- 議会のあり方調査特別委員会とは
  - ・ 議会が有する監視機能及び政策立案機能を最大限に発揮するため議会がどうあるべきかを調査することを目的
  - ・ 平成26年3月に設置

### 現在の議員定数条例

- ・ 25人が理想であるが、条例定数は24人のままでするも、当分の間22人
- ・ 議会機能向上特別委員会(前期の議会)で決定

#### • 決定理由

- ・ 常任委員会数は3つ
- ・ 委員数は6人から8人まで
- ・ 議長は常任委員会に所属しない



- 「定数19人、22人、25人」を基準に協議
- ・ 民意の反映、議会機能向上のため、25人が理想
- ・ まとめることができる数字は22人

### 議会のあり方調査特別委員会での検討

- ・ 議会機能向上特別委員会の最終報告を基本
- ・ 現在の議会運営の状況を踏まえ、本市の適正な議員定数について検討
- ・ 遅くとも議員任期の1年前までに結論

#### • 検討結果

- ・ 常任委員会数は3つ(一般会計の委員会除く)
- ・ 十分な審査に必要な委員数は7人か8人
- ・ 議長は中立的な立場であるため、常任委員会に所属しない



- 「委員数7人の22人」
- 「委員数8人の25人」

- ・ 議会機能向上のため「委員数8人の25人」が理想
- ・ 現状においては、現定数、本市の人口規模などを勘案し、「委員数7人の22人」が適当

## 議員定数条例の改正

- 改正内容
  - ・次の一般選挙から
  - ・議員定数22人

○ 結果 委員会:全員賛成  
本会議:賛成多数

## 質疑応答

- \* 発言の前に自治会名とお名前をお願いします。
- \* 質問は一問一答で行います。
- \* 質問内容は簡潔にお願いします。

ありがとうございました

アンケートにご協力ください